



GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧（東日本）《R6.4.26現在》

長野県（ぶどう、もも、なし、りんご、いちご）

<長野県農産物等輸出事業者協議会、JA全農長野、PFC長野が参画>

- ▶ 輸出に対応した防除暦の見直し、輸出のための園地登録及び選果こん包施設登録を推進。また、PFC長野を輸出拠点としたコールドチェーンが確保された一貫輸物流体系を実証

岐阜県農林水産物輸出促進協議会（柿）

<岐阜県、JA全農岐阜・JA、輸出商社等が参画>

- ▶ 包装された果実の最適ガス濃度・温度の検証、果実損傷防止に資する資材（フルーツキャップ、専用容器）の試験等を実施

静岡県かんしょ輸出促進協議会（かんしょ）

<ジャパンベジタブル、日本農業、生産者、静岡県、タタラ商店、JAハイナン等が参画>

- ▶ 耕作放棄地の活用により、輸出用かんしょ作付面積を拡大するとともに、出荷段ボール・パレット等の規格の変更による効率的な輸物流体系を構築

静岡茶輸出拡大協議会（茶）

<静岡県、茶業関係団体、JETRO、茶商等が参画>

- ▶ 県内3地区で有機てん茶生産拡大等のための実証試験を実施するとともに、地元清水港を活用した混載輸送を実証

三重県養殖魚輸出産地協議会（養殖ぶり、養殖まだい）

<三重県漁連、三重県、三重県海水養魚協議会、銀行等が参画>

- ▶ デジタル化を通じた空漁場の有効活用や省力的な飼育管理の実証を通じて輸出を拡大

伊勢茶輸出プロジェクト（茶）

<三重県、JA全農みえ、茶葉製造企業、輸出商社等が参画>

- ▶ 有機栽培体系の大規模実証、残留農薬検査等と併せて、伊勢茶と多品目との混載輸送の実証を実施

新潟県（錦鯉）

<新潟県、新潟県内水面試験場、養鯉生産者、JETRO、新潟県錦鯉協議会、長岡市、小千谷市等が参画>

- ▶ 雌雄判別技術やKHVの検査技術の確立を推進するとともに、発泡資材を利用した夏場の輸出の可能性を検証

新潟県（コム）

<新潟県、輸出事業者、生産者等が参画>

- ▶ 多収品種、直播栽培など低コスト・省力栽培体系の実証を行うとともに、新潟港の活用による効率的な輸物流体系を実証

新潟県（清酒）

<新潟県、新潟県醸造試験場、新潟県酒造組合、JETRO等が参画>

- ▶ 輸出用日本酒のラインナップを拡大するため酵母菌株を育種するとともに、県内の日本酒等についての混載・大ロット化輸出を実証

北海道米輸出促進協議会（コム）

<ショクレン北海道、生産者等が参画>

- ▶ EU、メキシコ向けに、多収米の乾田直播栽培等低コスト・省力栽培技術の実証や残留農薬検査等を実施

北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会（コム、かんしょ、玉ねぎ）

<北海道庁、ホクレン、JA、JETRO等が参画>

- ▶ コム：多収米の直播・減農薬栽培体系の実証やEUの包材規制等に対応した米袋の試作等を実施
- ▶ かんしょ：作付拡大に向けたポット苗の増殖方法・体制の確立、キュアリング対策の実証等を実施
- ▶ 玉ねぎ：タイの規制に対応した減農薬栽培の実証や選果を行わない集荷品のフレコン・バルク輸出試験を実施

アスツガル輸出促進協議会（りんご）

<日本農業、REDAPPLE、提携生産者300名程が参画>

- ▶ 海外で導入されている省力的な栽培方法「FOPS」のモデル実証を実施するとともに、高品質を維持するため鮮度保持資材やダイナミックCA技術等について試験を実施

みらいりんご輸出拡大生産推進協議会（りんご）

<JA津軽みらい、JA全農おおもり、Wismettacフーズ等が参画>

- ▶ 高密度栽培、着色管理が省略できる品種の導入等を実証するとともに、高密度植専用台木の供給体制を構築。併せて東北の港湾や新機能コンテナを活用した輸物流体系を実証

茨城県産米輸出拡大実証協議会（コム）

<百笑市場、豊田通商、生産者、茨城県等が参画>

- ▶ 多収米の直播栽培による低コスト化の実証や混載によるコスト削減効果の試験を実施

グローバルぶどう輸出産地協議会（ぶどう）

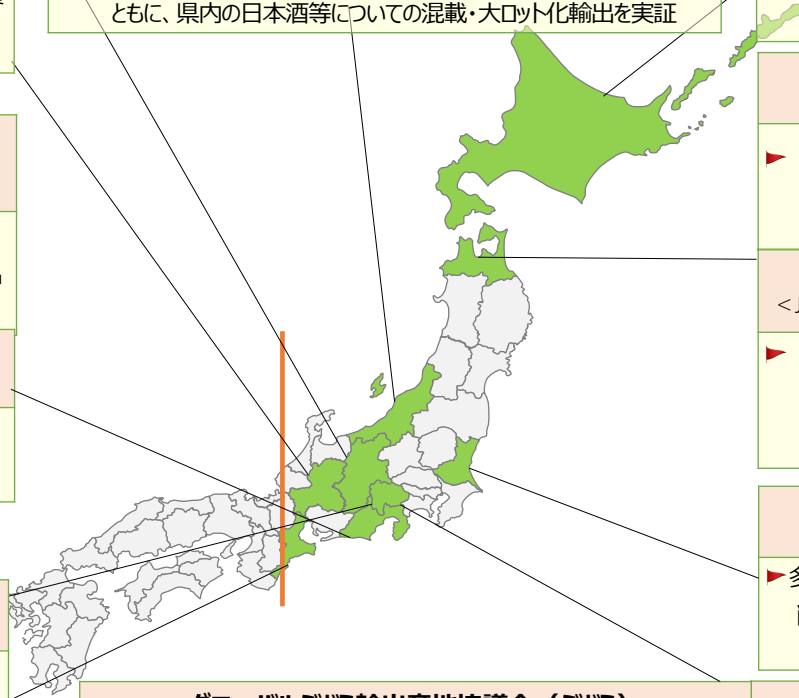
<アグベル、アグベル桜川、金融機関、物流機関、その他生産者等が参画。山梨県と茨城県で実施>

- ▶ 耕作放棄地等の活用により農薬飛散の回避を可能とする台湾向けの輸出産地の形成を推進するとともに、AIを使った選果作業の効率化に向けた実証を実施

笛吹果実輸出産地形成協議会（もも、ぶどう）

<笛吹農協一宮ブロック果実販売対策協議会、笛吹農協、世界市場、NIPPON ICHIBA等が参画>

- ▶ 農薬会社と連携し輸出用防除暦の開発及び普及を推進するとともに、専用集荷トラックによる集荷体制、空港までのコールドチェーンの確保等を柱とする新たな輸物流体系を検証





GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧（西日本）《R6.4.26現在》

北部九州いちご輸出促進協議会（いちご）

< Uлуу Japan等生産企業、佐賀県、日本農業、佐賀大学等が参画 >

- ▶ IPMの導入により台湾向けの残留農薬基準をクリアした栽培体系の実証を行うとともに、日持ちの点で優位性がある品種の試験栽培や輸出に適した梱包資材の開発、導入を実証

大分県（ぶどう（シャインマスカット）、柑橘）

< 大分県、大分県農協、全農大分県本部、ブランドおおいた輸出促進協議会等が参画 >

- ▶ ぶどう：春節期の販売を可能とするための貯蔵技術試験を行うとともに、県内産地のリー出荷体制を構築
- ▶ 柑橘：台湾向けの防除暦の改良を行うとともに、ハウスミカンから中晩柑までのリー出荷体制を構築

熊本県（メロン、いちご）

< 熊本県、JA熊本経済連、JA、輸出商社等が参画 >

- ▶ メロン：海外のニーズが高い赤肉メロンの栽培転換や作期の拡大に取り組み、周年供給体制を確立
- ▶ いちご：台湾向けの防除暦の作成を通じた輸出に取り組み園地の拡大及び輸送中の振動を緩和させる資材の導入試験の実施

宮崎県（きんかん）

< 宮崎県、みやざき『食と農』海外輸出促進協議会、JA宮崎経済連、トレードメディアジャパンが参画 >

- ▶ 台湾向け防除暦の普及を推進し、台湾向け生産園地を拡大するとともに、志布志港、細島港からの船舶輸送による実証を実施

鹿児島県（かんしょ、きんかん、ぶり・かんぱち）

< 鹿児島県、JA鹿児島県経済連、生産組合、漁協等が参画 >

- ▶ かんしょ：有機栽培の栽培技術やキュアリング等の鮮度保持技術の検証、普及
- ▶ きんかん：台湾向けの栽培・技術指導を行い、残留農薬検査や台湾向け防除暦のアップデートを実施
- ▶ ぶり・かんぱち：（ぶり）周年出荷体制やR8新加工工場稼働に対応した輸出向け出荷体制を確立（かんぱち）種苗生産～中間育成技術の開発や配合飼料の普及、蓄積したデータに基づく人工種苗育成技術のマニュアル化

HIROSHIMA Mitsu Bay Oyster 協議会(牡蠣)

< HIROSHIMA Oysters、ファームズスキ、沖友水産等水産事業者が参画 >

- ▶ 人工種苗を活用したフランス式のブランド牡蠣大規模生産モデルへの転換を推進するとともに、広島空港の活用によりリードタイムの短縮を実現

京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会宇治茶部会（茶）

< 京都府、JA茶業部会、茶生産組合、茶商等が参画 >

- ▶ 有機栽培、減農薬栽培の栽培実証を行うとともに、複数業者とのリーファーコンテナ（冷蔵）混載輸送試験を実施

奈良県（いちご、柿）

< 奈良県、卸業者、仲卸業者、奈良県農協、農業法人等が参画 >

- ▶ いちご：生物農薬等の利用による化学農薬の使用を最低限に抑えた生産体系を実証するとともに、台湾向け防除暦を作成
- ▶ 柿：タイ向け防除暦を作成し、タイ向けの輸出生産を拡大

香川県（麺類(県産小麦「さぬきの夢」を使ったうどん)）

< 香川県、JA香川県、製粉会社、製麺会社等が参画 >

- ▶ うどん用新品種の作付け拡大を図るとともに、輸出用うどんの試作を実施。併せて混載による大ロット化や商品ラインナップの確保を通じて、輸送コストを低減

えひめ愛フード推進機構（河内晩柑）

< 愛媛県、愛南町、JAえひめ南、生産企業等が参画 >

- ▶ EU向けの輸出を拡大するため、減農薬栽培の実証や残留農薬試験を実施

愛媛かんきつ輸出促進協議会（かんきつ）

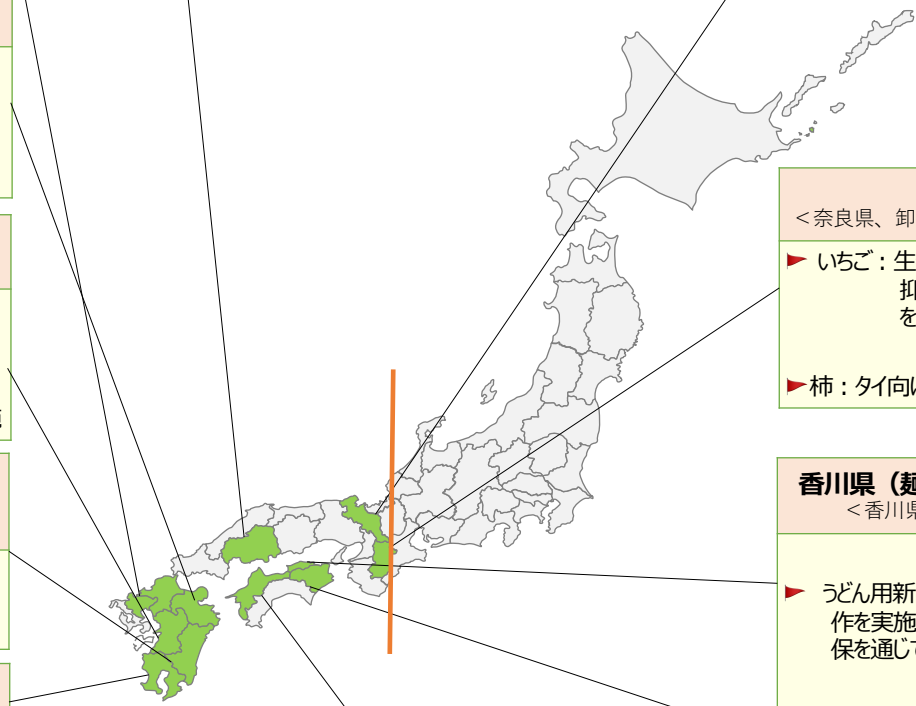
< 遠赤青汁、愛媛県、遠赤農園、西南セーフティグループ、清二郎農園が参画 >

- ▶ 改植等を進め、有機栽培など輸出用の産地を拡大することにより、通年輸出を実現

徳島県（かんしょ(なると金時)）

< 徳島県、世界市場、農家ソムリエーズ及び生産農家、NIPPON ICHIBA等が参画 >

- ▶ ロス率の低い系統の利用、小サイズを狙った密植栽培、減農薬栽培の実証等を行うとともに、強化ダンボールの開発により輸送効率を向上



※公募時に事業実施主体が提出した事業実施計画書を基に作成